

**ハンディレフラクトメーターが
第 129 回日本眼科学会総会学術展示優秀賞を受賞しました**

株式会社 QD レーザ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:大久保 潔)と東北大学眼科学教室の共同研究であるハンディレフラクトメーター(電力不要の手動式屈折計)が、プロジェクトの革新性と実用性が評価され、第 129 回日本眼科学会総会において学術展示優秀賞を受賞しました。この研究は、限られたリソースしかない環境下でも使用できる、小型で軽量、電気不要な屈折計の開発と性能評価を目的としています。

■日本眼科学会総会学術展示優秀賞について

日本眼科学会総会学術展示優秀賞は、日本眼科学会総集会プログラム委員会学術展示優秀賞選考委員会によって選考され、優れた学術展示に贈られる賞です。本賞の受賞に当たり、第 79 回日本臨床眼科学会にて、ハンディレフラクトメーターの開発と性能評価(筆頭研究者:山口万里奈)の特別講演の機会を賜りました。

■ハンディレフラクトメーターについて

小型(127mm)で軽量(148g)であり、電力を一切使わずに眼の屈折力を測定することができます。この新しい手動式屈折計の有効性と安全性を従来の技術と比較して評価することを目的として、東北大学眼科学教室と共同研究を行っています。



ハンディレフラクトメーター使用画像

■ハンディレフラクトメーターの可能性について

現代社会において、未矯正の屈折異常は世界中で数億人が抱える問題であり、低視力の主な原因とされています。特に発展途上国では眼鏡や医療機器の不足から社会的な問題となっています。ハンディレフラクトメーターは、電力不要の手動式屈折計であり、限られた資源しかない環境下でも活用できる可能性を秘めています。今後は、使用条件に合わせた指標の改良を進め、眼鏡の普及活動と組み合わせることで、その場で正確な屈折力測定を行い、適切な眼鏡を提供することが可能になります。これにより、低視力者の軽減や SDGs の目標達成に貢献できると見込まれます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com